

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年12月20日(2022.12.20)

【公開番号】特開2021-148890(P2021-148890A)

【公開日】令和3年9月27日(2021.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2021-046

【出願番号】特願2020-47312(P2020-47312)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

10

G 02 B 26/08 (2006.01)

H 04 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 Z

G 02 B 26/08 D

H 04 N 5/74 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月12日(2022.12.12)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光入射面を有する光学部を備えた可動部と、

前記可動部を揺動軸回りに揺動可能に支持する軸部と、

前記可動部を揺動させるアクチュエーターと、を備え、

前記軸部の、前記揺動軸に沿う方向から見た断面形状は、内側に凹む複数の窪みを有する形状であることを特徴とする光学デバイス。

【請求項2】

前記窪みの底部は、湾曲形状であることを特徴とする請求項1に記載の光学デバイス。

【請求項3】

前記窪みは、角部を有することを特徴とする請求項1に記載の光学デバイス。

【請求項4】

前記断面形状は、前記揺動軸を中心として回転対称であることを特徴とする請求項1から3の何れか一項に記載の光学デバイス。

【請求項5】

前記断面形状は、外周側へ突出する凸部と前記窪みとが周方向に交互に配置された形状であり、

前記凸部は、前記揺動軸と直交する第1方向の一方側および他方側、ならびに、前記揺動軸と直交し且つ前記第1方向と直交する第2方向の一方側および他方側に突出することを特徴とする請求項1から4の何れか一項に記載の光学デバイス。

【請求項6】

前記軸部を介して前記可動部を支持する固定部を備えることを特徴とする請求項1から5の何れか一項に記載の光学デバイス。

【請求項7】

前記可動部の側端面から突出する前記軸部において、前記窪みと前記側端面とを接続する部位は、湾曲部を有することを特徴とする請求項1から6の何れか一項に記載の光学デ

50

バイス。

【請求項 8】

光入射面を有する光学部を備えた可動部と、
前記可動部を揺動軸回りに揺動可能に支持する第1軸部および第2軸部と、
前記可動部を揺動させるアクチュエーターと、を備え、
前記第1軸部の前記揺動軸に沿う方向から見た断面形状を第1断面形状とし、
前記第2軸部の前記揺動軸に沿う方向から見た断面形状を第2断面形状とした場合に、
前記第1断面形状と前記第2断面形状は異なり、
前記第1断面形状と前記第2断面形状は、それぞれ、内側に凹む複数の窪みを有する形
状であることを特徴とする光学デバイス。

10

【請求項 9】

映像光を出射する光出射装置と、
前記映像光を拡大投射する投射光学系と、
前記光出射装置と前記投射光学系との間に配置される請求項1から8の何れか一項に記
載の光学デバイスと、を備えることを特徴とするプロジェクター。

20

30

40

50